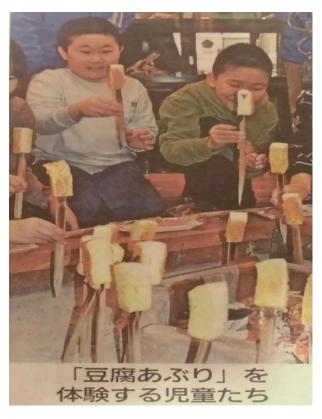
公益財団法人秋田県学校給食会

東成瀬小児童 豆腐あぶり体験「来年も元気に」



東成瀬村に古くから伝わる年中行 事「豆腐あぶり」が11日、同村田子 内のふる里館で行われた。東成瀬小 学校4年生11人が来年1年の健康を 願って豆腐のみそ田楽を味わった。

1年間の薬代や診療代を医者に支払う12月8日の「薬礼日」に合わせた行事で、豆腐にみそを塗って焼いて食べる。「医者のすねにみそをつける(恥をかかせる)」から転じたとされ、来年こそは医者にかからないと

の意味が込められているという。

東成瀬村昔っこの会の谷藤広子さん(69)が豆腐にまつわる昔話を語ったほか、同村田子内の佐々木友信さん(91)による豆腐あぶりのいわれを説明。児童たちは2人の話に耳を傾けた後、手作りのみそを豆腐に塗り、いろりであぶって食べた。高橋由宇さんは「豆腐を食べて来年も元気に楽しく過ごしたい」と話した。

豆腐あぶりは村の年中行事を再現する同校の事業の一環。4年生を対象に毎年実施している。(舘岡朋美)

(令和6年12月13日(金)秋田魁新聞より一部抜粋)